

# やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

|         |                                                |
|---------|------------------------------------------------|
| 誌 名     | やぶなべ会報                                         |
| 号/発行年/頁 | 39 / 2018 / 59-62 (再編集版)                       |
| タイトル    | 「森の広場」(青森・新城)の自然環境と生物リスト<br>第2回「森の広場市民観察会」について |
| 著 者 名   | 石郷岡 總一郎                                        |

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

## 「森の広場」(青森・新城)の自然環境と生物リスト

### 第2回－「森の広場市民観察会」について－

第25代 石郷岡 總一郎

#### 「森の広場市民観察会」の概歴

本稿第1回目(やぶなべ会報第38号11頁)の『「森の広場」設置の経緯』に有るとおり、『… 一般市民への啓蒙を計り、将来的には「青森野草園」をも視野に入れた運動に発展できれば …』という思いから森の広場の自然を紹介する観察会が開催された。「森の広場市民観察会」を紹介するやぶなべ会報記事(第21号38頁より抜粋、括弧内は筆者補記)に次の記述がある。

『この観察会は、「青森市森の広場」が(2006年当時から見た)14年前の平成4年(1992年)に開



写真1 第1回観察会。佐々木青森市長あいさつ, 参加者112名



写真2 句会も開催(2回)



写真3 受付の様子(3回)

設されてからスポーツ広場が一部市民に活用されているだけで、広大な森、草原、池などの自然環境が多くの市民に知られることもなく放置されていることから、その有効活用ができないかと青森市に拠点をもつ自然環境に関わる8団体が青森市など各方面に共催、後援を得て2006年5月から始めた事業です。』

観察会の主催者は、青森市に拠点をもつ自然環境に関わる団体が設立した「森の広場市民観察会実行委員会」である。この実行委員会に属した団体は、設立以前から相互交流があった次の「青森の自然環境を考える会」・「ウオッチング青森」・「青森・草と木の会」・「青森県樹木医会」・「青森野鳥の会」・「青森森林インストラクターの会」・「青森自然誌懇話会」・「やぶなべ会」の8団体である(順不同)。また、共催は、「森の広場」の管理を委託されている「新城縁故者委員会」(元の所有者の新城財産区関係者)で、青森市などの後援を受けた。当初、観察会の主幹事は各団体の持ち回りで行われ、他の団体はそのサポートにあたった。

記念すべき第1回は、2006年5月14日に当時の佐々木青森市長も参加して開催された。参加人数は112名と記録され、これは参加者数の最高記録になっている。観察の手助けになるよう、「森の広場」見られる生物をピックアップした「観察ガイドブック」も作成され、以降毎回参加者に「観察ガイドブック」が配布された。

第2回～第4回には「薫風津軽地方句会」の方々も参加され、観察会終了後に「句会」も行われた。

その後、参加者の増減はあるが、春と秋の年2回行われ順調に回を重ねていった。また、何度かテレビ取材を受けて、夕方のローカルニュースなどで観察会の様子が紹介された。

第10回までは各団体が持ち回りで担当幹事を務めていたが、各団体の都合により第11回以降はやぶなべ会が主幹事となって開催されている。このため、第10回までの観察ガイドブックは「森の広場市民観察会実行委員会」が「青森市内8団体参加構成」となっているが、それ以降は団体数の記載を外している。(注：主幹事はやぶなべ会が行っているが、主催はあくまで実行委員会である。)

観察会がマンネリに陥らないよう毎回テーマを設け、それに沿った内容になるよう工夫を行った。春は「森の広場」開園の関係で5月上旬に行われた場合が多いが、秋の開催は観察会のテーマによって開催時期が異なる。「キノコ」をテーマに10月に行われた回は、比較的参加者が増えていたようだ。ただ、子ども達の夏休みに合わせて開催した第18回(2014年08月17日)は、思惑とは裏腹に他の一般行事と重なる時期のためか参加者が少なかった。

第13回(2012年5月6日)頃から試行錯誤を重ねていた「植物名プレート」は、第19回(2015年5月15日)には仕様も定まり、青森市の予算化によって本格的な設置が始まった。(やぶなべ会報第37号24～29頁)なお、この第19回へは当時の鹿内青森市長も参加している。

## 「森の広場市民観察会」の主な内容

森の広場市民観察会の準備は次の様になされた。

まず、市役所担当者との打合せで、開催日・テーマなどが決定される。約1ヶ月前からチラシや青森市広報などで参加者を募り、「観察ガイドブック」や「ガイダンスで使用する写真」も作成が開始された。また、降雨などで野外観察ができなくなる場合を考慮した「スライド上映用資料」も併せて準備された。

観察会の一週間ほど前から開催直前まで、野外観察に直接関係する準備が行われた。森の広場の下見を行い、その時点での環境状況を把握すると共に「植物名プレート」の設置を行う。観察会当日にガイダンス会場(管理棟)へ展示する小動物を採集する、等である。



写真4 管理棟で小展示(3回)



写真5 動植物の説明を聞く(7回)



写真6 スズムシのお土産(8回)



写真7 ガイダンス(11回)



写真8 観察会の様子(11回)



写真9 植物の名札(13回)

観察会当日の大まかな流れは、次の通りである。

- ① 受付:当日の開始30分前から現地にて受付。ただし、事前に青森市広報などで参加者を募り、申込を行った方が対象。
- ② 主催者挨拶・ガイダンス:簡単な挨拶の後、30分ほどの時間、その回のテーマや観察が期待できる生物について、プロジェクターを使ったガイダンスを行う。
- ③ 野外観察:その回のテーマにより、観察路沿い・谷間の湿地帯(ミズバショウ群落)経由など観察コースは変動する。また、多人数の場合、幾つかの班に分けて行動する。
- ④ 終了:終了の挨拶の後、解散。

ガイダンス会場である「森の広場管理棟」では、野外観察の参考になる小動物やキノコなどが展示された。また、参加者にお土産として、飼育されたスズムシを配布したこともある。

観察会終了後に反省会を行い、課題や問題点を検討し、次回以降の改善策を話し合った。

## 「森の広場市民観察会」の休止と今後

主要スタッフの高齢化、参加者数の伸び悩みなどの諸事情により、2016年10月に行われた第22回を一応の区切として、「森の広場市民観察会実行委員会」主催による観察会を中断することになった。今後については、青森市が主体となった観察会で継続できないかを模索している。

### [資料1] 「森の広場市民観察会」開催リスト

| 回数   | 日付          | 参加者  | 備考         | 参考・やぶなべ会報(号:頁) |
|------|-------------|------|------------|----------------|
| 第1回  | 2006年05月14日 | 112名 | 佐々木青森市長参加  | 掲載なし           |
| 第2回  | 2006年09月10日 | 42名  | 薫風津軽地方句会参加 | 21:38-40       |
| 第3回  | 2007年05月13日 | 約80名 | 薫風津軽地方句会参加 | 22:49          |
| 第4回  | 2007年09月09日 | 約80名 | 薫風津軽地方句会参加 | 23:52          |
| 第5回  | 2008年06月15日 | 約30名 |            | 掲載なし           |
| 第6回  | 2008年09月14日 | 約50名 | テレビ局取材あり   | 25:47          |
| 第7回  | 2009年05月06日 | 約90名 | テレビ局取材あり   | 26:14          |
| 第8回  | 2009年09月12日 | 約50名 |            | 27:63          |
| 第9回  | 2010年05月09日 | 約80名 |            | 28:44          |
| 第10回 | 2010年09月12日 | 約30名 |            | 28:44          |
| 第11回 | 2011年05月08日 | 35名  |            | 29:52          |
| 第12回 | 2011年09月11日 | 34名  |            | 30:10          |
| 第13回 | 2012年05月06日 | 約30名 |            | 31:47          |
| 第14回 | 2012年09月09日 | 28名  | 青高生物部員参加   | 32:49          |

|      |             |      |            |                |
|------|-------------|------|------------|----------------|
| 第15回 | 2013年05月12日 | 42名  |            | 33:51/50       |
| 第16回 | 2013年10月13日 | 57名  | 青高生物部員参加   | 34:23/20-22    |
| 第17回 | 2014年05月06日 | 29名  | テレビ局の取材あり  | 35:39          |
| 第18回 | 2014年08月17日 | 数名   | テレビ局の取材あり  | 36:49-50       |
| 第19回 | 2015年05月19日 | 28名  | 鹿内青森市長参加   | 37:24-25/28-29 |
| 第20回 | 2015年10月18日 | 約30名 |            | 37:25-26       |
| 第21回 | 2016年05月08日 | 32名  |            | 37:27          |
| 第22回 | 2016年10月23日 | 約25名 | 以降は一旦休止とする |                |

[補注] 参加者数はスタッフも含む。また、正確な記録が残っていない場合は概数である。

—— アルバム……第1回(2006年春)、第2回(2006年秋) から ——

